



2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社クラウドワークス 上場取引所 東
 コード番号 3900 URL https://crowdworks.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉田 浩一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)野村 真一 (TEL)03(6450)2926
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績(2019年10月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月期第1四半期	2,342	15.5	△21	-	△4	-	△13	-
19年9月期第1四半期	2,027	49.9	13	-	13	-	△2	-

(注) 包括利益 20年9月期第1四半期 △12百万円 (-%) 19年9月期第1四半期 △6百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
20年9月期第1四半期	△0.87	-
19年9月期第1四半期	△0.16	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
20年9月期第1四半期	6,109	3,223	51.8
19年9月期	6,328	3,245	50.4

(参考) 自己資本 20年9月期第1四半期 3,167百万円 19年9月期 3,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
19年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
20年9月期	-	-	-	-	-
20年9月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,012	3.0	△500~△1,000	-	-	-	-	-	-

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2020年9月期の業績予想につきましては、当社を取り巻く市場の追い風と主力のマッチング事業が好調であることを背景に、短期的な利益よりも成長率向上と中長期の利益最大化を図るため、マッチング事業への投資を集中、拡大する方針です。その結果、マッチング事業の売上高は+20%程度の継続成長を見込み、営業利益はマイ

ナスとなる見込みです。また、受託事業は営業利益の黒字化を引き続き維持する予定であります。事業規模の縮小に伴い売上高は△22%成長の見込みとなります。この結果、連結全体の売上高につきましては+3%成長、売上総利益は+8%成長、営業利益はマッチング事業の成長率向上および中長期の利益最大化に向けた投資拡大から、△5億円～△10億円となる見通しです。なお、経常利益以下の各段階利益につきましては、機動的な投資判断を実施する観点から、具体的な金額予想は開示しない方針とさせていただきます。詳細はP3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想など将来の業績予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

20年9月期1Q	15,210,160株	19年9月期	15,210,160株
② 期末自己株式数	48株	19年9月期	48株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	15,210,112株	19年9月期1Q	14,336,938株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは『働き方革命～世界でもっともたくさんの人に報酬を届ける会社になる』というビジョンを掲げ、創業以来、インターネットを活用して個人が報酬を得るための仕組みであるクラウドソーシングを中心としたオンライン人材マッチング事業を推進しております。

近年、現政権の旗印である「一億総活躍社会実現」における最大のテーマ「働き方改革」に沿って、潜在労働力となっている女性やシニア、障がい者などの活躍の機会拡大、会社員の副業・兼業など、企業に勤める以外の働く選択肢が広がり、より柔軟な働き方を求めて個人の働き方への価値観は多様化しつつあります。

企業においても、人手不足の状況が深刻度を増す中、従来の枠にとらわれない形で人材獲得を進めたい企業が増加しております。特に昨今は日本を代表する大企業の副業解禁の動きが活発化し、自社の従業員の収入増加、モチベーションの向上、優秀な人材の確保・定着などを目的として、従業員の副業・兼業を容認する動きが広がっております。これに伴い、自社で雇用する従業員だけでなく、優秀な外部の専門人材（フリーランス・副業者）を社内に取り入れ、経営や事業・サービスに活用する動きが期待されております。

このような環境のもと、当第1四半期は2019年9月期末に策定した今期の投資方針に従い、当社のコア事業であるマッチング事業への選択と集中を図るべく、組織体制の変更や事業戦略の見直しを着実に進めました。

マッチング事業においては、人材獲得に苦勞する企業に対し、エンジニア・デザイナー等のフリーランスやオンラインの事務アシスタントの導入活用を進め、発注単価の向上とクライアントの大型化を図りました。これにより、マッチング事業の売上高は33.7%の成長となっております。また、今期の投資方針に掲げる企業向けセールスチームの拡大、大企業開拓専任チームの組成、クライアント発注社数の増加を目的としたTVCMのテストマーケティングの準備を着実に進めており、上半期での投資を拡大する方針です。

受託事業においては、大手SIerからの受託開発案件の納品・検収が予定通り進捗したことで、通期業績予想に対して堅調に推移いたしました。一方で、今期の見通しに変更はなく、縮小・利益化を進めていく予定です。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高2,342,411千円（前年同期比15.5%増）、営業損失は21,020千円（前年同期は営業利益13,844千円）、経常損失は4,433千円（前年同期は経常利益13,689千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は13,263千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失2,320千円）となりました。

報告セグメントについては、クラウドワークス、クラウドテック、bizアシ、gravieeを中心とする「オンライン人材マッチング」へ注力するため、2019年10月1日よりマッチング事業への集中を図る組織体制へと変更したことから、2020年9月期より報告セグメントを変更しております。

当社グループは、これまで「ダイレクトマッチング」「エージェントマッチング」「ビジネスソリューション」「フィンテック」「投資育成」の5つを報告セグメントとしておりましたが、従来の報告セグメントである「ダイレクトマッチング」と「エージェントマッチング」のマッチング事業部分を「マッチング事業」として一本化し、「エージェントマッチング」における受託関連事業部分と「ビジネスソリューション」を「受託事業」とする2つの報告セグメントに変更、「フィンテック」「投資育成」は「その他」に含めることといたしました。

セグメント業績については、次のとおりであります。

① マッチング事業

マッチング事業においては、従来の広告効率を維持しながら、Web広告投資を継続的に実施し、新規クライアントとワーカーの増加、クライアント顧客単価の大型化、などを推進することで、クライアントの発注社数の増加とクライアント1社あたりの発注単価の向上を図りました。

この結果、売上高は1,535,858千円（前年同期比33.7%増）となりましたが、今期の投資方針で掲げるセールスチームの拡大に伴う人件費および業務委託費の増加により、セグメント損失は27,207千円（前年同期のセグメント損失は39,143千円）となりました。

② 受託事業

受託事業は、今期の計画において縮小・利益化を図る方針であります。第1四半期は株式会社電縁およびア

イ・オーシステムインテグレーション株式会社の受託開発案件の納品タイミングとなったことから前年同期比で横ばいとなり、売上高は766,935千円(前年同期比3.0%増)となりましたが、売上原価の減少により、セグメント利益は11,479千円(前年同期比36.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は6,109,469千円となり、前連結会計年度末に比べ219,113千円減少しました。

流動資産は5,022,112千円となり、主な内訳は現金及び預金が3,198,605千円、受取手形及び売掛金が1,055,125千円であります。

固定資産は1,087,357千円となり、主な内訳はのれんが634,067千円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は2,885,679千円となり、前連結会計年度末に比べ197,546千円減少となりました。

流動負債は2,341,900千円となり、主な内訳は、預り金が882,107千円、未払金が410,691千円であります。

固定負債は543,779千円となり、主な内訳は、長期借入金350,924千円となっております。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,223,790千円となり、前連結会計年度末に比べ21,567千円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

企業の人材不足と多様な働き方を求める社会的機運の高まりにより、国内クラウドソーシング市場は今後も中長期的に拡大が続くと想定されます。当社グループにおきましては、2018年9月期および2019年9月期と通期の営業黒字化を実現し、既存の事業領域は順調な成長を続けております。今後も市場拡大に向けて顧客開拓とマーケティングの最適化に取り組むことで、事業成長と利益創出に向けて取り組んでいく予定です。

特に、2020年9月期は、事業の選択と集中による経営資源の最適配分を行い、既存の事業から生み出す売上総利益によって再投資を拡大することによって、既存事業の成長率向上と中長期の利益基盤の盤石化を進めております。

また、『働き方革命～世界でもっともたくさんの人に報酬を届ける会社になる』というビジョンを実現するため、既存のマッチング事業においては市場シェア拡大を目的とする総契約額の最大化を注力事項として設定し、顧客開拓のための営業体制強化や、全社横断的なマーケティングによる効率的な投資を実行することで、継続的な利益創出に向けた事業及び経営体制の強化を図ります。

これにより、2020年9月期は、主力事業であるマッチング事業の総契約額・売上高は+20%程度の成長を見込み、通期を通して継続的に成長する予定です。また、外部市場環境の追い風を背景として、短期的な利益確保よりも中長期の成長率向上と利益の最大化を目指すことが重要と考えており、マッチング事業への投資を集中・拡大を行ってまいります。このため、営業利益においては△500百万円～△1,000百万円の営業赤字となる見込みです。一方で受託事業はEBITDAと営業利益の黒字を見込むものの、総契約額、売上高および売上総利益については2019年9月期に対して縮小する見通しです。

2020年9月期の業績予想につきましては、2019年11月14日に公表しました業績予想から修正を行っておりません。なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,411,499	3,198,605
受取手形及び売掛金	995,201	1,055,125
未収入金	502,393	457,178
預け金	26,056	28,237
営業投資有価証券	59,584	59,823
商品及び製品	64,555	67,299
仕掛品	82,454	78,439
その他	91,186	89,901
貸倒引当金	△12,364	△12,498
流動資産合計	5,220,567	5,022,112
固定資産		
有形固定資産	100,603	100,281
無形固定資産		
のれん	655,837	634,067
その他	37,618	45,496
無形固定資産合計	693,455	679,564
投資その他の資産		
その他	329,412	322,967
貸倒引当金	△15,454	△15,454
投資その他の資産合計	313,957	307,512
固定資産合計	1,108,016	1,087,357
資産合計	6,328,583	6,109,469
負債の部		
流動負債		
買掛金	183,047	178,312
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	282,473	335,162
1年内償還予定の社債	308,000	40,000
未払金	379,502	410,691
未払法人税等	33,643	12,155
賞与引当金	—	44,229
預り金	876,781	882,107
その他	469,185	339,241
流動負債合計	2,632,633	2,341,900
固定負債		
長期借入金	257,715	350,924
社債	40,000	40,000
繰延税金負債	11,210	11,106
資産除去債務	58,163	58,246
その他	83,502	83,502
固定負債合計	450,592	543,779
負債合計	3,083,226	2,885,679

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,687,217	2,687,217
資本剰余金	2,645,880	2,640,050
利益剰余金	△2,144,759	△2,158,023
自己株式	△64	△64
株主資本合計	3,188,274	3,169,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,645	△1,563
その他の包括利益累計額合計	△1,645	△1,563
新株予約権	2,440	361
非支配株主持分	56,288	55,813
純資産合計	3,245,357	3,223,790
負債純資産合計	6,328,583	6,109,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)
売上高	2,027,721	2,342,411
売上原価	1,263,317	1,491,588
売上総利益	764,404	850,822
販売費及び一般管理費	750,560	871,843
営業利益又は営業損失(△)	13,844	△21,020
営業外収益		
預り金失効益	2,676	7,055
助成金収入	-	7,817
その他	448	4,401
営業外収益合計	3,125	19,275
営業外費用		
支払利息	3,261	1,887
その他	18	800
営業外費用合計	3,280	2,688
経常利益又は経常損失(△)	13,689	△4,433
特別利益		
固定資産売却益	-	19
特別利益合計	-	19
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	13,689	△4,413
法人税、住民税及び事業税	4,585	3,267
法人税等調整額	14,612	4,888
法人税等合計	19,197	8,156
四半期純損失(△)	△5,508	△12,569
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,188	693
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,320	△13,263

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△5,508	△12,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△623	81
その他の包括利益合計	△623	81
四半期包括利益	△6,132	△12,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,944	△13,182
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,188	693

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期 連結損益計算 書 計上額
	マッチング	受託	計			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,148,481	744,685	1,893,166	134,555	-	2,027,721
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,550	-	1,550	45	△1,595	-
計	1,150,031	744,685	1,894,716	134,600	△1,595	2,027,721
セグメント利益又は損失(△)	△39,143	8,413	△30,730	46,169	△1,595	13,844

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っており、支払手数料を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期 連結損益計算 書 計上額
	マッチング	受託	計			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,535,858	766,935	2,302,793	39,617	-	2,342,411
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	14	-	14	45	△59	-
計	1,535,872	766,935	2,302,807	39,662	△59	2,342,411
セグメント利益又は損失(△)	△27,207	11,479	△15,727	△5,234	△59	△21,020

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っており、支払手数料を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、クラウドワークス、クラウドテック、bizアシ、gravieeを中心とする「オンライン人材マッチング」へ注力するため、2019年10月1日よりマッチング事業への集中を図る組織体制へと変更したことから、当第

1 四半期連結会計期間より報告セグメントを変更いたしました。

当社グループは、これまで「ダイレクトマッチング」「エージェントマッチング」「ビジネスソリューション」「フィンテック」「投資育成」の5つを報告セグメントとしておりましたが、従来の報告セグメントである「ダイレクトマッチング」と「エージェントマッチング」のマッチング事業部分を「マッチング事業」として一本化し、「エージェントマッチング」における受託関連事業部分と「ビジネスソリューション」を「受託事業」とする2つの報告セグメントに変更、「フィンテック」「投資育成」は「その他」に含めることに変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。